

## やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和元年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 最上総合支庁

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐・森林作業道 】				
整備箇所	最上郡金山町大字飛森字春木前山 地内	ほか	事業主体	山形県	
整備面積	30.0ha	樹種	スギ	林齢	18~26年生
整備内容	<p>当該箇所は、下刈り後の手入れがなにもされておらず、著しく成長の不良な木が目立つ状態であった。</p> <p>そのため、本事業により適正な密度となるよう間伐等の手入れを行うことで、今後は森林の持つ公益的機能の維持増進が期待できる。</p>				



整備前



整備後

整備区分	人工林整備 針葉樹林維持型 【 間伐・森林作業道 】				
整備箇所	最上郡真室川町大字川ノ内 地内		事業主体	山形県	
整備面積	55.2ha	樹種	スギ	林齢	20~59年生
整備内容	<p>当該箇所は、間伐や除伐といった手入れが植栽後から行われておらず、過密に生育したスギ林であり、成長の不良な木や雪害等の被害木が多い状態であった。</p> <p>そのため、本事業により適正な密度となるよう間伐等の手入れを行うことで、今後は森林の持つ公益的機能の維持増進が期待できる。</p>				



整備前



整備後



## やまがた緑環境税を活用した取組み

【令和元年度荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 最上総合支庁

整備区分	里山林整備 【 人と動物との共存林整備 （被圧木伐採・下刈） 】				
整備箇所	最上郡最上町大字黒沢 地内 ほか			事業主体	最上町
整備面積	11.4ha	樹種	スギ・ザツ	林齢	6~96年生
整備内容	<p>当該箇所は、人家や農地の周囲、幹線道路沿いの森林のうち、イノシシによる農業被害等が多発しており、人と野生動物との生息域の境界があいまいになっている状況であった。</p> <p>そのため、林内の下草の刈払い、枯損木の伐採等を行い、イノシシ等が隠れられない見通しのよい森林とすることで、野生動物との緩衝帯としての機能を発揮できるようにした。</p>				



整備前



整備後

整備区分	里山林整備 【 人と動物との共存林整備 （間伐・下刈・枝打ち・つる切り） 】				
整備箇所	最上郡戸沢村大字角川 地内			事業主体	戸沢村
整備面積	2.0ha	樹種	スギ・ザツ	林齢	50~96年生
整備内容	<p>当該箇所は、人家の周囲や幹線道路沿いのうち、人の手が入らず人里と野生動物の生息域の境界があいまいになっており、野生動物の目撃及び被害等が発生している状況であった。</p> <p>そのため、見通しを悪くしている林内の下草の刈払い、枝打ち、景観を損ねている枯損木やつるの伐採を行うことで、見通しのよい森林になり、野生動物との緩衝帯としての機能を発揮できるようにした。</p>				



整備前



整備後